

# NEWS LETTER



## CONTENTS

- ・今後の主催イベント
- ・これからの予定「こどたん+2025」  
「茅ヶ崎ミライトーク」「市民活動パネル展」  
「地域の居場所づくり交流会IX」
- ・開催報告「ボランティア塾参加団体ふりかえり交流会」「あなたのまちで相談会」  
「NPO講座2、3」「SDGsカフェ11」
- ・「さぼちゃんが行く！」にじカフェ
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



お正月にスタッフ LINE で飛び交っていた様々な場所から撮影された富士山をプレイルーム窓にちょこっとアート→実は、こどたん+2025 当日みんなで作る巨大アート作品に向けての試し描き。環境や体にやさしい kitpas という絵具を使って、みんなで窓アート作品を完成させます！どんな作品ができるのか、お楽しみに！

今後の予定

Feb  
2月

▷2/22(土) 14:00~16:00

NPO講座4「第2回茅ヶ崎ミライトーク」

●プログラム●

1. 行政との協働・連携について  
(市民自治推進課 協働推進担当)
2. プレゼンタイム  
(市民活動5団体によるプレゼン)  
○活動紹介、市と一緒にやってみたい取組み、事業提案等  
○市長・副市長、他の参加団体からのコメント、メッセージ
3. 参加者からの質疑応答、意見交換

市長・副市長も参加します！

※詳細はコチラ▶



Mar  
3月

▷3/9(日) 10:00~15:30

体験型多世代交流イベント「こどたん+2025」

@ちがさきサポセン

遊びにきてね♪



▷3/10(月)~3/19(水)

市民活動パネル展

@市役所本庁舎1階市民ふれあいプラザ

▷3/23(日) 14:00~17:00

地域の居場所づくり交流会IX @茅ヶ崎

子どもの居場所づくりを考える  
～学校内外の実践事例を通して～

予告

体験型  
多世代交流  
イベント

ちがさきを知る・みんなでつながる・新しいことにチャレンジする

# こどたん<sup>プラス</sup> + 2025

入場  
無料

会場：ちがさき市民活動  
サポートセンター

「こどたん<sup>プラス</sup> + 2025」  
最新情報はコチラ



チェックしてみてね！

ともにつくる

いろいろ  
あそんで  
まなべる

♪わくわく♪

ウキウキ◆

ときどき♥

開催日

3月9日(日)  
10:00~15:30

サポセン企画

Check!  
1

## まつり盛り上げ隊 募集

ひとりで活動できる人ならどなたでもチャレンジ！



「まつり盛り上げ隊」の  
申込みはコチラ

◎こども隊員…当日会場の受付、風船くばり、景品渡し、会場案内など

《体験時間》①9:45~10:15 ②10:45~11:15 ③12:45~13:15 ④13:45~14:15

①~④各回3名、申込制・先着順で申込みを受付けます(左記QRコードより申込み)

◎おとな隊員…事前準備から当日の運営、片付けなど(定員10名)

<詳細はお申込み後、個別に対応します>

“何かしたい…”そんなあなたのチカラを待っています♪

会員証もあるよ⇒



<会員証>  
001 さぼちゃん

Check!  
2

いつでも誰でも楽しめる♪

みんなでつくる  
さぼちゃんアート

窓ガラスに巨大な絵を  
みんなで完成させよう！

魔法のチョークで  
描くよ



さぼちゃんワードラリー

会場内にかくれた文字をみつけて  
ひとつの言葉をつくろう♪

みつけた！



Check!  
3

サステイナブルアクション

やってみよう！



新品の文房具を寄付しよう！

★集まった文房具は、“NPO法人もったいないジャパン”を  
通じて必要としている人のもとへ届けます♡  
(ノート、鉛筆、消しゴム、定規など)

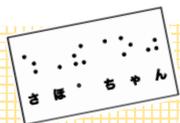


ちがさき  
サポセン

## 館内

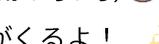
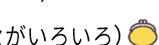
10:00～12:00

- イースターバニーを作ろう（靴下で作っちゃおう！）
- 手話体験（手話をやってみよう）
- 点字体験（点字で名刺をつくらう）
- 作った UFO キャッチャーでお菓子のつかみ取り（重さあてクイズ、試飲・試食などもあるよ）



13:30～15:30

- レモン電池実験★（電池の仕組みを学べる）
- 視線入力装置体験（目で見てパソコンを操作）
- KEEP LEFT プレートづくり★（自転車は左側通行）
- きらきらアクセサリー等の販売（手作りアクセがいろいろ）
- 食育キャラクター“ほめと”&“みかうえる”がくるよ！



10:00～15:30

- 竹とんぼづくり（よく飛ぶ竹とんぼを作り飛ばしてみよう）
- 自分だけの万華鏡づくり（次々と模様が変わりステキ）
- 羊毛でお絵かき（針でちくちく、優しい雰囲気がいいね）
- 魔法のチョークでお絵かき（キットパスでアート体験）



## 屋外

10:00～15:30

- ガールスカウト体験（まくらめクラフト体験、ゲームなど、フリマもあるよ！）
- こどもあそび広場（スーパーボールすくい、木工あそび、飛び出す塗り絵）
- 自然観察にでかけよう（親子で第一カッターきいろ公園まで自然観察へ Go、黒米・焼き菓子販売など）
- 保護犬について知ろう（啓発活動、チャリティーグッズ販売、綿あめ販売など）
- わくわく楽しいおもちゃづくり（CD コマ、小枝で動物、ストローで吹き矢作りなど）
- ネパールのこどもの仕事体験（水運び体験、ネパール雑貨、コーヒー販売など）
- ネパールを知ろう（現地の裁縫学校の生徒が作った製品やネパール雑貨販売、チャイ試飲など）
- 無線通信体験（しゃべってみよう！）
- サスティナブルアクション（新品文房具の寄付受付！）



★…「事前申込」：受付は 2/24(月)より開始(先着順)、空きがあれば当日参加 OK  
＝都合により予定が変更になる場合があります＝

🕒 …材料費が必要な体験、販売ブース  
☆詳細は、コチラをご覧ください→



### 「こどたん<sup>プラス</sup> + とは・・・」

子どもから大人まで、多世代が楽しみながらつながる「体験型交流イベント」！参加した人たち同士が交流し、みんなの思いがつながる。いろいろ体験しながら、ちがさきの魅力を知って、これからも住み続けられるまちにするためにできることを考え、新しいことにチャレンジする。そんなキッカケづくりの場を提供します。

### 《ともにつくる 23 団体が大集結！》

神奈川県立茅ヶ崎支援学校 共生社会推進チーム、ガールスカウト神奈川県連盟第 16 団、KEEP LEFT PROJECT、三翠会、サンチャイ・ネパールねばるば、湘南生活クラブちがさきデポー、認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット、湘南 1Leben、じゃおクラブ湘南、就労継続支援 B 型事業所 すみび WOW、ソーラーハウスにしかわ、茅ヶ崎市国際交流協会キッズイベントグループ、茅ヶ崎市視覚障害者福祉協会、茅ヶ崎市聴覚障害者協会、茅ヶ崎セフティコミュニティアマチュア無線クラブ、茅ヶ崎竹とんぼ教室、つなぎの会 茅ヶ崎、DIY アドバイザー 神奈川茅ヶ崎支部、ネパール教育支援の会 NESAs、Homehome Home(ほめほめほーむ)、みんなで Kitpas、NPO 法人もったいないジャパン、認定 NPO 法人 NPO サポートちがさき

(50 音順、1/25 現在)

《駐輪場協力》AGC セイミケミカル株式会社

《後援》茅ヶ崎市、茅ヶ崎市教育委員会



## NPO 講座 4 「第 2 回 茅ヶ崎ミライトーク」

市民活動団体と行政が一緒にできることを考える、未来志向の対話イベント。5年後・10年後の輝く未来に向けて、まちづくりへの思いを語りあおう！新たなつながりをつくる場、これからの活動のヒントが見つかるかも…。

- ◇日 時：2月22日(土) 14:00～16:00
- ◇場 所：ちがさきサポセン（フリースペース大） ◇参加費：無料
- ◇定 員：20名（要申込・先着順）
- ◇対 象：まちづくり、社会・地域課題の取り組みに関心のある方どなたでも
- ◇申 込：2/1(土)～2/21(金)、右記のQRコード、サポセンHP、メールや電話でもok
- ※手話通訳、託児(6ヶ月～3歳/先着3名)を希望の場合は、2/7(金)までにお申込みください。



<申込期間>  
2/1(土)～2/21(金)

～市民のチカラで 伝える・変える・つながる未来へ～

20 団体が参加！

「市民活動パネル展」 開催

- ◎展示期間：3月10日(月)～3月19日(水) 8:30～17:00
- ◎展示場所：茅ヶ崎市役所1階 市民ふれあいプラザ

13分野の市民活動団体の活動・イベント・メンバー募集などの情報がもりだくさん！オリジナルあふれるパネルが並ぶのでぜひ見に来てください♪ (2025.1.23 現在)

参加団体		
湘南1Leben	茅ヶ崎市合理的配慮促進条例を考える会	茅ヶ崎セフティコミュニティアマチュア無線クラブ
九条の会・ちがさき	茅ヶ崎録音奉仕会	にじカフェ
三翠会	茅ヶ崎市消費団体連絡会	サンチャイ・ネパールねばるば
湘南SHOW点	茅ヶ崎ボランティア連絡会	みんなの居場所びすた〜り
市民劇団オンリーワン	NPO法人パソコンボランティア湘南	(特非)NPOサポートちがさき
KEEP LEFT PROJECT	筆記通訳サークル「虹」	ちがさき市民活動サポートセンター
チームみつばち	湘南のきさきフルーツプロジェクト	

## 「地域の居場所づくり交流会IX @茅ヶ崎」

子どもの居場所づくりを考える ～学校内外の実践事例を通して～

市内では不登校の子どもとその保護者を対象にした支援団体がネットワーク組織を立ち上げたり、地域での子ども支援活動が広がりを見せています。今回は、市内外で取り組まれている実践事例報告と講演を通して、学校内外でのこどもの居場所づくりのあり方について参加者同士語り合います。



- ◇日 時：3月23日(日) 14:00～17:00
- ◇場 所：ちがさきサポセン（フリースペース大） ◇参加費：300円(資料代)
- ◇対 象：子どもの居場所づくりに関心がある市民、市民活動団体、自治体、福祉団体等の職員、学校教員、自治会関係者など

### ◇第1部

事例報告：白井 容子さん（不登校・子どもの居場所ネットワークちがさき代表）、芦田 操さん（mini ひまわり代表）、古林 美香さん（放課後カフェ連絡会代表/西東京市）

### ◇第2部

講 演：栗林 知絵子さん（認定NPO法人豊島子どもWAKUWAKU ネットワーク理事長）

- ◇定 員：30名（要申込・先着順）
- ◇申 込：2/1(土)～3/17(月)、右記のQRコード、サポセンHP、メールや電話でもok！
- ※手話通訳・要約筆記、託児(6ヶ月～3歳/先着3名)を希望の場合は、3/7(金)までにお申込みください。



<申込期間>  
2/1(土)～3/17(月)

# もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ 2024年11月～2025年1月 開催報告

## 開催報告

### ボランティア塾 in 鶴嶺高校 参加団体ふりかえり交流会



◇日時：11月23日(金)・24日(土)10:00～12:00

10月3日(木)実施のボランティア塾参加団体による交流会を、たくさんの方に参加していただけるよう二日間開催。23日には5団体10名、24日には7団体12名が参加しました。最初にサポセンより高校との反省会での内容と今年の感想を伝えました。高校に電子黒板が導入されたことや授業の時間などの見直し検討を考えていることなどに、各団体から喜びの表情がうかがえました。

次に各団体より活動内容とボラ塾当日の感想を話してもらいました。「今年の1年生は物静かだが、質問



◇参加：12団体22名

にはきちんと答えてくれる。アンケート等も丁寧に記入してくれた」との意見が多数ありました。

休憩をはさんでグループに分かれて「ワークショップを経験しての気づきと感想」「参加団体間での今後の交流について」を話し合いました。

いろいろな団体、様々な世代の交流は、思わぬ気づきがあり、盛り上がりました。どの団体も他の団体がどのような授業を行っているか気になるようです。「今までは当日が終了したらボランティア塾はそれで終わりと思っていたが、今回来て本当に良かった」という嬉しい言葉もいただきました。

## NPO・市民活動・ボランティア あなたのまちで「相談会」

◇日時：12月4日(水) 13:30～16:00

◇参加：7団体

県のアドバイザー相談業務を受託している一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわによる出張相談会を開催しました。豊富な経験と高い専門性を持つ相談員2名が対応。組織運営や今後の活動・事業の進め方、他機関との連携など、市民活動団体の様々な悩みにしっかり寄り添い、的確なアドバイスをしてくださいました。

＝県の専門相談もぜひご活用ください♪（時間帯と詳細は右記QRコードから）＝



ボランティア活動  
相談窓口

## NPO 講座 2

### 「活動を楽しく広げていくために... 仲間づくりのコツ」

◇日時：12月7日(土) 14:00～16:00

◇講師：後藤 麻理子さん（特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネート協会 理事・事務局長）

◇参加者：15名

「ボランティアや会員を募集しても集まらない」「メンバーが定着しない」「企画や運営のメンバー不足」などの悩みを持つ団体は少なくありません。継続して活動するための工夫や、参加するひとり一人のチカラが発揮できる環境づくりをどうやったら負担感なくできるのか、ボランティアマネジメントの基本を学ぶとともに、グループワークでは参加者同士で悩みを共有、アドバイスし合いながら理解を深めました。

ボランティアプログラムを組むときに重要なことは団体として次のような項目を明確にすること。

- ①目的②活動内容③活動主体④活動対象⑤活動場所
- ⑥活動日・時間・頻度⑦活動までの手順⑧コスト。

またボランティアと団体のニーズを把握し、それが重なる部分や双方のメリットにつながる活動をつくる「コーディネーターの役割をする人」の存在がとても大切であるとのこと。

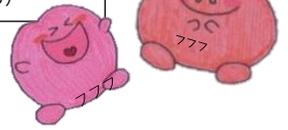
参加者の感想は、「わかりやすく参考になった」「自分の団体（自分）に不足している部分があった」「新しい



い発想を気付かされた」等とても参考になったとの感想が多く寄せられました。



Pump up (わくわくする)  
Helpful (健康おせっかい)  
Us (わたしたち)



◆日時：1月11日(土) 14:00～16:00 ◆参加者：19名

◆ゲストスピーカー：(共同代表) 熊切 つぐ美さん・白井 幸子さん



(PuHU\*～わくわくする健康おせっかい～ (旧コミュニティナース茅ヶ崎))

ゲストスピーカーに PuHU (プフ) を迎えて地域を大切にしながら人と人、人と地域がつながるための方法を教えてもらいました。PuHU は「わくわくする」「知る」「気づく」「やってみる」「つなぐ」を肝としてアメンバー組織で活動している茅ヶ崎の団体。PuHU の「あり方」をインストールした代表を含めたメンバーを PuHU メイトと呼んでいます。成就院のお寺マルシェ (毎月第 2 日曜日) で健康案内所を設け健康相談やちょっとした工作・運動などわくわくする楽しみを取り入れた健康おせっかいをしたり、PuHU メイトの「やりたい」に共感し、できるときに都度できる人が協力しあう、いま風の体制で活動しています。

共同代表の熊切さんからは「本当に必要な人へ届けたい」溢れんばかりの熱い思いが、白井さんからは、「楽しまなきゃ始まらない」「誰もが誰かを元気にすることができると優しさでポジティブさをあわせもつ空気が広



がり、会場全体が和らぎました。

PuHU メイト 3 名からは、地域に入り込み実施している認知症カフェや口腔体操など、健康にしているための健康おせっかい話がありました。「人に寄り添う方法は人の数だけある」と知ることができ、自分にも何かできるかもと考えるきっかけとなりました。

後半は「わくわくする健康おせっかい」についてグループで意見交換。「一人暮らしになった方に声をかけていくのはどうか」と具体的なアイデアも寄せられ、アンケートの感想では「人間関係、近隣関係が希薄だからこそ、“健康おせっかい”は広げていくべき」「自分もおせっかい上手になりたい」「PuHU の輪が広がるために地域に広報する」など、おせっかいが大切なコミュニケーションの一つだと認識されました。

さっそく翌日のお寺マルシェには参加者の訪れがあり、次回の設営を手伝ってくれる PuHU メイトが増えたとの嬉しいご報告！小さなつながりも生まれ、これから PuHU の「あり方」がこの街にじわじわと浸透しそうです。

### NPO 講座 3

## 「生活支援体制整備事業」の事例から学ぶ～ 協働・連携事業の作り方

◇日時：1月16日(木) 14:00～16:00

◇参加者：15名

◇講師：細住 孝次さん (社会福祉法人大磯町社会福祉協議会 事務局長)

地域課題の解決を目指して多様な関係主体同士がどのように事業化を検討して実現していくのか、協議体「るーたー大磯」が企画したフリーペーパー発行事業を題材に、連携・協働のポイントについて学びました。

大磯町は人口 3 万人ほど。今でもヘルパー事業所などが少なく高齢者本人が望む暮らしの実現を支える人が不足しており、2040 年には高齢化率 42.7%、40～64 歳の現役世代が 3,000 人も減少(!)と予測されているとのこと。危機感をもって地域福祉計画のアンケート結果を見ると、福祉への関心度は比較的高いのに(とても、ある程度関心がある、を合わせると約 70%)、地域の福祉活動に参加したいと回答した人の割合が 10.8%



しかなかったことから、「活動に参加していない」層に対してまずは知ってもらい、福祉と介護の課題を自分ごととして考えてもらうために、フリーペーパー全戸配布という決断に至ったそうです。

後半では、参加者同士が「多様な主体が共通の目的の達成に向けて協働・連携するうえで大切なこと」をテーマに意見交換。また、NPO サポートちがさき協働コーディネーターの小山より、茅ヶ崎でのネットワーク形成支援事例や座間市生活援護課の困窮者支援の事例を紹介しました。

参加者からは、「協働・連携を進めるためのきっかけとして、まずは本音で語り合う、お互いに共感し、顔の見える関係を作っていく、語り合う場を作ること」「人との関係を作るためには、わからなくても飛び込む勇気と行動力が必要」「40～50 代にこそ読んでほしいというコピーも含めてすっかり戦略どおりに引き込まれた。協議体とその世代の方々がいて尽力している姿を見て身近に感じた」「大磯町の高齢福祉の取り組みに引き続き注目していきたい」などの感想がありました。



創刊号はサポセンでも配架中♪



# さぼちゃんが行く！

## にじカフェ

病気や障がいがあっても、介護されていても、全ての人が「人生を最後まで楽しむ」ことができるように、いつでも誰でも安心して過ごせる地域に開かれた循環型コミュニティの場作りをしています。

(設立 2022年5月、正会員4名、ボランティア/サポーター約50名)

《代表の銭坂さんにお話をうかがいました》

### 始まりは患者さんの一言から

にじカフェの場所は幸町13-20。カフェの場所がなかなか見つからなかった銭坂さんですが、偶然にもマヤ暦での神聖な数字とされる13と20の場所にめぐり合いました。平屋の古民家のような建物のドアを開けると、そこは冬の日差しと木のぬくもりのある、暖かくて優しく何か懐かしい空間が広がっています。何となく昭和の香りもします。

銭坂さんは看護師の傍ら自宅でアロマサロンを開いていました。アロマスクールとサロンとごはんが食べられる場所を作れたらいいなと思って



ました。そしてそこは病気でも高齢者でも身体が不自由でも、誰でも来られる場所にしようと。

療養型の病院で働いていたある日のこと、「本当は美味しいコーヒーを飲みに行きたいけれど、みんなに迷惑がかかるから、あきらめて缶コーヒーを飲んでいる」と話す患者さんがいました。その人はコーヒーが大好きでしたが、余命2ヶ月と言われていました。人生の最後に美味しいコーヒーを飲むという小さな希望もあきらめなければならない現状に銭坂さんは衝撃を受けました。

「それならば酸素療法をしていても車椅子でも気兼ねなく入れるカフェを私が作ろう」、それがにじカフェの始まりです。

自宅でアロマサロンをやっていて、2016年頃から個人事業主を集めたイベントを藤沢で年4回ほど開催していたこともあって、いろいろな人とのつながりはその頃からあったそうです。自分の想いをたくさんの人に話し続けているうちに、一緒にやろうと言ってくれる仲間ができ、2019年から「にじカフェプロジェクト」として動き始め、神奈川のモノにこだわりながら場所を作り、2023年10月にオープンすることができました。

### どうやったら来て欲しい人に声が届くのか

にじカフェの発酵カフェでは軽食とドリンクを出しています。素材にこだわり、発酵調味料を使用した身体に優しいメニューです。また、レンタルスペースとレンタルボックスがあり、有料で貸し出しをしています。ここではさまざまな出張講座や教室が催され、出会いの場

になっており、雑貨なども置いてあって、楽しい空間になっています。また、地域の福祉事業者、子ども支援の団体などと盛んに交流し、横のつながりを大事にして「フェス」なども催しています。

ただ、カフェを運営して、場をつないでいくには収益を上げなければなりません。それがなかなか難しいようです。いろいろなことをやりすぎて、外から見ると何をやっている所なのかよくわからない、何もない普通の人が行っていいのか、など思われているのが悩みです。

何とかにじカフェを知ってもらおう、足を運んでもらおう、思いも伝えようと、毎日Instagramで発信しています。

### みんなが自分で人生を決められるように

銭坂さんが今力を入れているのは、「414カードお話し会」と終活、アロマとタッチングだそうです。「414カード」とは最後まで自分らしく大切なものをあきらめないための死生観対話カード。話すことがタブーとされがちな「死」を見据えて考えることで「今」をどのように生きるか、自分が大切にしたいのは何なのかに気づくことができ、それをみんなでお話し合います。終活にもつながります。アロマとタッチングで「触れるコミュニケーション」の大切さを知ってもらい、温かみだけでなく、想いや感謝を伝えようとしています。



思った時に行けて、そこで何かしらのつながりができ、にじカフェに行けば何とかかなるというような「ハブ」を目指している銭坂さん。「つながり」がキーワードだと言う銭坂さんの言葉は、暖かくて、優しく、にじカフェそのものです。

「一日一食ここで食べて、ちょっとおしゃべりして、お散歩して、生存確認して帰っていく、そんなお年寄りを増やしたい」と奔走している銭坂さんにエールを送ります。

# お知らせ



## ■ 開館時間 変更のお知らせ

3月9日(日)「こどたん<sup>プラス</sup>+2025」の開催に伴い以下日程の**開館時間が変更**となります。

例えば、「打合せや印刷をしたい」「借りているロッカーから荷物を取り出したい」「備品を借りたい・返却したい」などで利用をご希望の方は、**ご注意ください**。詳しいことは窓口にて確認願います。

**※3月9日(日)は、17:30 閉館 ※**

◎3/8(土): 午後1時より準備のため利用制限あり

◎3/9(日): 通常のご利用はできません

イベント開催中のため車両乗入れできません

ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力ください。

ぜひ、「こどたん<sup>プラス</sup>+2025」へお越しください♪

## ■ パソボラ湘南主催 IT 支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンで相談！

開催日：第2・第4月曜日(無料・予約制)

①13:00~14:00 ②14:00~15:00 ③15:00~16:00

※各回定員2名 ※申込受付：毎月1日から

※お申込みは、直接 NPO 法人パソボラ湘南、

担当：杉岡さんへ電話で申込 090-9543-0070

但し、16時以降に電話を！



詳細はコチラ▲

## ■ 令和7年度実施 市民活動げんき基金補助事業 「公開プレゼンテーション」開催

応募した団体すべてが参加。提出書類(事業企画書)とプレゼンテーションをもとに、市民活動推進委員会が評価・審査を行います。

どなたでも傍聴ができます。市民活動団体の熱い思いを直接聞ける機会！お気軽に参加ください。



日 時：3月16日(日) ※時間は未定

スタート支援(3事業)

ステップアップ支援(3事業)

場 所：茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室2~5 (予定)

問合せ：市民自治推進課 81-7126(直通)

## ■ 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月1日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

▷ 3/1号：こどたん<sup>プラス</sup>+2025

▷ 4/1号：茅ヶ崎ホノルル姉妹都市応援団

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

## サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

・2/22 PM NPO 講座4

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- ・3/8 PM ~こどたん+2025 準備
- ・3/9 終日 こどたん+2025 (17:30 閉館)
- ・3/23 PM 地域の居場所づくり交流会IX

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※最新情報はホームページにてご確認ください。

主催イベント開催のため、フリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

## ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30~21:30 (休館日：毎月第3水曜日、年末年始(12/28~1/3))

アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき

(指定管理期間：2021年4月1日~2026年3月31日)

サポセンキャラクター  
“さぼちゃん”



サポセン HP